

第2回県北地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和4年9月14日（水）
時 間 午後2時5分～午後3時47分
会 場 一戸高等学校 会議室

1 開会（事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史）

2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ（委員長 上野光久）

- ①前回の第1回会議において、本委員会の設置運営要綱や今後の検討スケジュール並びに新設校の校名の決め方の議論をいただき、校名については公募することとなったところ。
- ②本日の会議では、公募結果を踏まえ、小委員会で取りまとめた校名（案）候補について事務局より提案させていただき、ご意見をいただくこととなる。
- ③大事な会議となるので、活発な議論をよろしくお願ひしたい。

3 報告（一戸高校副校長 新田剛史）

- (1) 県北地区新設高等学校校名公募について
 - ・資料2ページを読み上げて報告。
- (2) 第1回統合課題検討小委員会及び第1回教育内容検討小委員会
 - ・資料2ページを読み上げて報告。
- (3) 第2回統合課題検討小委員会
 - ・資料2ページを読み上げて報告。

(1)～(3)について質問、意見はなし。

4 協議（議長 委員長 上野光久）

- (1) 県北地区新設高等学校校名（案）について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料4ページを読み上げて提案。再検討の意見が多数のため保留となった。
- ・補足（学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男）
校名（案）については、設置者である県教育委員会が最終的に決定する。
選定については、両校の関係者のご意向を十分に踏まえるため、統合検討委員会で検討いただいた候補をもとに決定し、手続きを進める。
また、県教育委員会に校名を諮るにあたり、候補に込められた意味、選定した

理由について県教育委員会に報告をしていただくため、候補について委員の皆様
の活発なご意見、ご発言をお願いしたい。

候補の数について制限はないが、直近の宮古商工高校の例では3つとなっ
ている。複数の候補を出す場合は、県教育委員会での検討の参考としたいので可能
であれば順位を付けていただきたい。

本日、協議により候補が決定した後の流れは、県議会における条例改正を経
て正式決定となるが、次回の統合検討委員会で、県教育委員会で協議した結果
を報告させていただく。

(鳩岡委員) 校名候補選定の基本的な考え方の3つについて、1つ目、2つ目はよ
く分かった。3つ目の「〇〇総合高校」、「〇〇工業高校」というものは統合新
設校における学びに誤解を与えるため除外したという考え方のようだが、提示
されたA～G案では、新設高校で何を学ぶのかよくイメージできない。

統合新設校も就職を希望する生徒の割合が高いと考えるので、校名は採用
する企業等が学びの内容がわかる方がよいと考える。進路を意識した校名が必要
ではないかと考える。

地元の方々も「工業」の名前が消えるのは寂しいという思いである。「工業」
等が入らないA～G案では工業教育の火が消えるような思いをされる方が多
いのではないか。「工業」や「総合」を除外するのではなく、総合の名を付け、
その下に工業教育の内容がわかるものを付ければ良いのではないか。例えば、
「総合テクノ」や「総合システム」など、「テクノ」であれば、農業や家庭、技
術系も入っている。イメージしやすい校名ではないかと考えている。

(筒井委員) 校名候補選定の基本的な考え方は理解するが、結果として提示され
た候補では、学校の所在と、学びの内容がわからない。新設される高校のイメ
ジがないうえに、設置場所、学びの内容も分からないとなると、中学生が選択
するのはかなり難しいと考える。かなり丁寧に説明をしないと伝わらないの
ではないか。

子どもたちは「一戸高校」と「福岡工業高校」が統合することは知っている
が、統合新設校がどのような学校かはよくわかっていない。この候補の中から
選ぶとすれば校名案Fの「北未来実業」である。

質問であるが、この中から選ばなければならないのか。

(回答) (一戸高校新田副校長) 校名公募の応募数は重複したものを除くと93件で
あり、地名が付いた校名もあった。新設校には、総合学科と工業学科の2つの
学科が設置されるため、「〇〇総合高校」、「〇〇工業高校」といった校名は、小
委員会で除外した。

また、「福岡〇〇高校」、「一戸〇〇高校」もどちらかに偏った校名になるの
ではないかと意見があった経緯も踏まえ、今回、提示した地名が付かないもの
となっている。

なお、「福岡〇〇高校」は5件、「一戸〇〇高校」は10件、「二戸〇〇高校」

- は14件、「〇〇工業高校」が2件、「〇〇総合高校」が10件あった。これらの応募されたものから、小委員会で検討を重ね、今回提案した7つに絞った。
- (上野委員長) 校名公募実施要項では、公募された校名は、決定の際の参考とさせていただくという内容で募集をしているので、公募されたものを元に組み合わせさせて校名(案)を作ることも可能である。
- (佐藤委員) P T Aの立場で発言する。小学校や中学校の子どもを持つ保護者は、校名に関心がある。「総合」や「システム」などを入れてみてはいかがか。例えば「北桜総合システム高校」という様に入れてみれば良いのではないか。「北桜」などの校名では保護者としてもわかりづらいのではないかと考える。提出された候補と、この場で出た意見として出たものをミックスしていけば良いのではないか。
- (生内委員) 「北桜」、「誠北」、「北翔」、「松桜」という校名は他の例はあるのか。生き残っていくための戦略として、実務系(専門)を学習できる学校として明確なメッセージを出せるような校名とした方がよいのではないかと考えている。
- (回答) (一戸高校新田副校長) 「北桜」に関しては「栃木県立小山北桜高等学校」、「東京都立赤羽北桜高等学校」がある。「誠北」については確認できていない。「北翔」については「ほくと」、「ほくしょう」と読む学校が北海道にある。「明北」、「松桜」、「北未来実業」の名称も確認できなかった。
- (生内委員) 同様の校名があるか調査する必要はあると考える。
- (佐々木委員) 県立高校における新しい校名として、最初にイメージするのが「不来方高校」である。矢巾町に設置された普通高校であり、「不来方高校」に進学すれば、芸術や外国語などの様々なコースを選択でき、様々な進路が選択できるということが広く認知されていることと思う。このように、校名に所在地や学びの内容を付けなくても、学校の教育内容の情報発信、実績を出すことによって、学校の学びの内容等が理解されてくるのではないかと考える。また、校名を考える際は、高校生や地域の人たちが呼ぶ略称や愛称がどうなるのかも考慮することが大切である。
- (中村委員) 校名に性格を持たせるのも一つの手であると考え。「一戸高校」は「総合」という名称が校名についていないが、一戸町の方には総合学科の高校として認知されている。長い校名にしなくても、教育活動をきちんと行っていくことで、高校の学びの内容についてのイメージ付けはできるのではないかと感じている。
- 長い校名は生徒、保護者も使いづらいと思う。なお「福岡高校」も全国に複数あると聞いている。全国を探せば同じ校名は出てくることは仕方がないことだと思う。
- (回答) (上野委員長) 愛称、略称について、この会議の場で話し合い方向性を決めていくことも可能であるのでご意見を伺いたい。
- (中嶋委員) 小委員会、事務局の方は、候補を決めるのに大変苦勞なされたと思う。

ただ、本日の委員皆様の発言から、今日、候補を決定するのは難しいと考える。スケジュール的に難しいとは思いますが、今回の意見を踏まえて校名について話し合える会議を別に設けてはいかがか。

〈回答〉(上野委員長) 次の会議は11月であるが、その前にもう一度、統合検討委員会を開催し、検討する方向でよいか。

(鳩岡委員) 中嶋委員の意見に同感である。「不来方高校」の話もあったが、普通高校であるため、今回の統合新設校とは状況が違う。二戸市にとって「福岡工業高校」には格別の思いがあるので、市民の思いが反映されるような校名にしてほしい。「宮古商工」、「釜石商工」のように「工」が残っているから地域の方は安心する。「工」を残してもらいたい。「工科」でもよい。校名が多少長くなっても略称でアピールできるようにすれば良いのではないかと考える。

〈回答〉(上野委員長) 次回の会議は11月10日の予定であるが、その前にもう一度会議を開催する方向で検討する。公募の中で「工業」、「総合」が含まれているものも提案する。その中で、候補と組み合わせで検討する方向でいかがか。

(中嶋委員) 今回提案いただいたものは、差し戻しという捉え方で、改めて検討をお願いしたい。小委員会での候補の決め方を、この場で決めたほうが良い。

〈回答〉(上野委員長) 次回候補を出す際は「工業(工科)」、「総合」のイメージがあるものも提案するというでいかがか。

(田家委員) 校名を一つとして考えているから、なかなか決定できない。何か良い総称を決めておき、原案につければ良いのではないか。小委員会においても、今回の統合検討委員会の議論を踏まえたものを提案していただきたい。また、決め方を小委員会に提示しないと難しいのではないか。

〈回答〉(上野委員長) 小委員会も現在の状況では公募の中から再度選び直すこととなる。決め方の案があればお願いしたい。

(佐々木委員) 資料にある校名選定の考え方に賛成であり、今回提案された案を残すことについて賛成である。

(一戸高校新田副校長) 委員の皆様のご意見を踏まえ、公募されたものの中から「総合」、「工業」の名前が付いているものを参考までに読み上げる。「二戸桜陵総合工科」、「岩手実業」、「県北総合工業」、「総合テクノロジー」、「総合工科」、「二戸総合工業」、「北未来実業」、「北未来実践」、「北翔総合工業」がある。

(上野委員長) 今、事務局から読み上げられたように、公募で寄せられた「総合」、「工業」の名前が付いている候補と、佐々木委員のご意見のとおり今回の案を残した提案でよろしいか。

(鳩岡委員) 校名の候補の選定の基本的な考え方が3つ示されているが、2つ目に示されている「地名が入っているものは除外」についてその通りだと思う。「総合工業」、「総合工科」といったものを生かす方向で検討をしてはいかがか。

(生内委員) 「総合工科」は良いと思う。「総合工業」は総合的な工業高校に聞こえてくるので不適當かと思う。

〈回答〉(上野委員長) 次回の検討に向けて選択肢を増やしていく。今回の案の上

位3つを生かしつつ、新たに出てきたものを絞って原案として提出することでいかがか。

(中嶋委員) 小委員会、事務局にはご苦労をおかけするが、検討をお願いしたい。

(上野委員長) 次回の会議は日程調整を行い10月に開催予定とする。

(2) 教育内容について (一戸高校副校長 新田剛史)

- ・資料5ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。

(澤瀬委員) 地域の人材育成を担うことに大賛成である。統合により工業高校の「科」がなくなるのではないかと危機感を持っていた。平成5年に一戸高校に福祉科が設置され、国家資格である介護福祉士の取得において実績を積んできた。その後、総合学科となり、高校卒業後3年間の実務経験を積まなければ、介護福祉士の受験資格が得られない状況になってしまった。統合を機に、総合学科のカリキュラムを検討していただき、卒業時に介護福祉士の資格を持って就職できるようにして欲しい。地域の人材育成に向け総合学科においても1年目から専門的な学びができるような工夫をしてほしい。

〈回答〉(上野委員長) 「福祉科」を新設することは難しいのではないかと考える。ご意見として承り、検討事項とさせていただく。本校の卒業生は、地域に根付いて就職しており、実務者研修を活用して、介護福祉士になっている卒業生も多い。総合学科になったからといって介護福祉士になれないわけではなく、本校では、地域の人材を生み出しており強みでもある。

(澤瀬委員) 福祉科のような教育内容を統合の機会に検討してみたいはいかがか。

〈回答〉(上野委員長) 一戸高校への福祉人材の育成に関してのご意見として承る。

(生内委員) 複数の福祉施設の責任者の方からいろいろと話を頂いている。この地域は人口が減るため、高校を卒業してこの地区から出ていく若者を止めたいと考えているところ。

〈回答〉(上野委員長) 県北の地域を担う人材を育て、県北地域に貢献していきたいという思いは、一戸高校も同じである。

(中嶋委員) 一戸高校は二戸地域のために努力をされている。この問題は大きな問題であり、高校卒業時の「出口」をどのようにすればよいのかという、高校だけでは解決できない問題でもある。

〈回答〉(上野委員長) かつて一戸高校は農業科もあった。科が閉科したことで農業教育をあきらめるということではない。福祉のニーズがあることは認識しているところであり、福祉施設と協力しながら教育活動を行っている。

(3) 校章について (一戸高校副校長 新田剛史)

- ・資料7ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。

(生内委員) デザインを委託した場合、どのくらいの経費が必要か。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) A案(公募)であれば、地元の業者では数万円でデザイン化が可能である。B案(デザイナー等に委託)であれば、若干、経費が嵩むと考えられる。

(鳩岡委員) 県教育委員会で委託料などは出してもらえるのか。

〈回答〉(安齊学校教育室特命参事兼高校改革課長) デザイン料等、新しい校章の立案に係る費用について県の予算から支出することは難しいものとする。

(高村委員) なぜ予算が出ないのか。どれくらいの予算規模で学校統合を考えているのか。

〈回答〉(上野委員長) 各校のPTA、同窓会等に協力いただいて経費を賄っていきたいと考えている。

(高村委員) 県教育委員会が統合を計画しているということを踏まえると、経費は公費で賄うべきではないのか。

〈回答〉(上野委員長) 県教育委員会では経費の全てを負担する予定はないと聞いており、各学校で負担できる範囲で負担することになるものと考えている。校歌の作詞・作曲については県に予算要求しているところ。

(鳩岡委員) 設置者の責任で予算をあてるべきではないか。

〈回答〉(安齊学校教育室特命参事兼高校改革課長) 過去の事例によると、校旗の作成、校名板を設置する費用は県費で支出することとしている。

(澤瀬委員) 経費をかけないように、例えば、両校の校章を組み合わせるのでも良いのではないか。A案を支持したい。

(4) 校歌について (一戸高校副校長 新田剛史)

・資料 8 ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。

(澤瀬委員) 一戸高校の校歌は大事にしたほうが良い。一戸高校の校歌の歌詞を一部変えていけば、経費をかけず、歴史も大切にできるのではないか。

(生内委員) 新しい校歌が良いのではないか。

(鳩岡委員) 新しい校歌が良い。2番までで良いのではないか。

(佐々木委員) 以前、勤務した地域において小学校で歌詞を公募したが、公募した歌詞を専門家に再編集していただいた経緯がある。岩手県在住の作曲家にお願いしたことがあった。新しいものを作るのであれば、作曲家を決めてお願いするのがいいのではないか。

(上野委員長) 作成方法については小委員会で検討しているが、佐々木委員の意見も伝えて検討してまいりたい。

(5) 校訓(建学精神)について (一戸高校副校長 新田剛史)

・資料 10 ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。

- ・意見なし

(6) 制服について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・資料 11 ページを読み上げて提案。資料のとおり承認。

（高村委員）制服納入業者への連絡は行ったのか。

〈回答〉（一戸高校新田副校長）制服納入業者には令和 6 年度から制服を変更する可能性があるかと連絡している。

（高村委員）新しい制服を作ることは賛成である。作る際は二戸地域の服飾関係の業者を利用したら良いのではないか。

（中村委員）合格発表から入学式までに、制服を調製する時間が短いため、制服専門業者でないと難しい。

(7) その他

- ・なし

5 その他

（生内委員）本日のうちに、次回会議の日程を決めることはできるか。

〈回答〉（上野委員長）次回の会議は 10 月 14 日（金）午後 2 時からとする。

6 閉会（事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史）

※午後 3 時 47 分終了